

2002年度総会

日時 5月25日(土) 午後3時～5時
 場所 広島国際会議場 研修室Ⅲ(3階)
 議題 前年度事業報告
 同 決算報告
 本年度事業計画
 同 予算

歓迎！大邱協会訪問団

六月一日、十四名来広

日韓共催のサッカー・ワールドカップの開幕を控え、日韓の友好関係が急速に深まる中、UNESCO大邱協会広島訪問団(団長/全達出・同協会会長、14名)を6月1日、広島へお迎えします。今年の日韓交流年でもあります。

の日の夜、広島入りされます。広島での日程は後記のように原爆ドーム・厳島神社のユネスコ世界遺産の視察をはじめ比治山女子高校と大邱広域市の源花女子高校との姉妹校提携の調印式などが予定されています。

日程

今回の訪問は、大邱協会と広島協会との間で一昨年に締結された姉妹協会提携に基づく訪問で、昨年は広島協会が大邱協会の心からのおもてなしを受けて世界遺産見学など意義ある旅程を重ね、友好を深めました。

6月1日 ユネスコ全国大会
 大会レセプション
 新神戸駅発(新幹線)
 広島駅着
 リーガロイヤルH泊
 2日 平和公園
 昼食(お好み焼き)

訪問団名簿(敬称略)

会長・全達出(韓国ユネスコ協会連盟会長、副会長・安德煥(前毎日新聞専務)、李陽均(同夫人)、常任副会長・徐千濟(前毎日新聞理事)、崔善熙(同夫人)、副会長・

南相杰(佑南織維代表、金明子(同夫人)、副会長・李旭(源花女子高校長、金民子(同夫人)、理事・朴正玉(前大邱大学校総長)、事・朴正玉(前大邱大学校総長)、監事・朴炫業(前大邱銀行支店長)、申靖子(同夫人)、理事・崔喆浩(前中央労働委員会委員長)、李英淑(同夫人)

第四回新春フェスタ 盛大に開催

去る一月十九日(土)午後二時から広島アンデルセンでユネスコ新春フェスタが盛大に開催されました。このフェスタは、広島ユネスコ協会結成二十五周年を記念して、一九九九年に第一回目を実施されて本年度で四回目を迎え、すっかり当協会の重要な年中行事として、定着してまいりました。

また、この後、プログラムは、広島島の地でオペラの振興に貢献されている、エリザベト音楽大学の山岸靖教授と同夫人の山岸芽美子さんによる「椿姫」の「乾杯の歌」などの歌曲をテノールとソプラノで鑑賞する「新春歌の共演・饗演」に移りました。

当日は、まず、このフェスタとともに誕生した第四回広島ユネスコ活動奨励表彰式から始まりました。北川建次会長の年頭所感も織り交ぜたあいさつのもと、中山修一審査委員長(当協会常任理事)の講評をうけ、学校部門の広島市立安東小中学校、同中野小学校、同安佐北高等学校、社会部門のIVC・国際ボランティアクラブ、ヒロシマ・セミパラチンスク・プロジェクト

朗々たるプロの歌声は、さすがに迫力満点、皆さんはクラシック音楽に堪能されていました。これらのプログラムのあと、記念パーティが開かれ、受賞者音楽のゲスト、来賓の皆さんも一緒に和気あいあいのうちに交歓がなされました。

「国際交流・協力の日」広島ユ協も参加

多文化共生社会と広島国際交流の推進を目的に広島市の国際交流団体が一堂に会する第二回「国際交流・協力の日」(主催/広島平和文化センター、広島ユネスコ協会などの団体で構成する実行委員会など)が、三月三日、広島国際会議場と平和大通りで開かれ、多彩な催しが国際色豊かに展開されました。

JICAなど22団体が参加した紹介展示コーナーに当協会は日本ユネスコ協会連盟制作の世

界遺産パネル(日本編・世界編各20点を展示して世界遺産の意義等を来場者にアピールしました。今年は一回目とあって各団体とも積極的に事業を展開。入場制限をしたほどの環境映画上映でのアジアの食文化体験会場などの盛況が際立ち、また恒例の講演会、バザー、民族衣装ショー、日本語スピーチ・コンテストなどにも多くの参加者が見られました。

第2回「大邱の日」企画・日韓青少年コンサート

各国の歴史、文化、生活への理解を深め、国民間の相互理解と友情を育むために昨年からはじまった広島市の姉妹都市提携記念日企画「大邱の日」の本年度は、日韓の青少年の共演で音楽演奏をお楽しみいただきます。なお、企画実行委員会に今年も当協会は参画しています。

- と き…五月二日(木) 午後一時半
- と ころ…広島市留学生会館(南区荒神町一―二)
- 出 演…李 東頻(ヴァイオリン 16歳)
- 洪 性珠(ピアノ 18歳)
- 山田鈴子(チェロ 15歳)
- 曲 目…メンデルスゾーン作曲
- 「ピアノ協奏曲作品49」 ほか

※参加希望の方は事務局長へご連絡ください。
(TEL 二二二一〇五四七)

第4回ユネスコ活動奨励賞 受賞団体紹介 (その1)

「広島市立安東小学校」

96年、広島オマイン友好協会が地元で設立され、同校児童代表がオマインでホームステイを体験。翌年、国際交流クラブが結成され、98年から、広島市の外国語講師派遣事業と安東公民館の国際交流事業に沿って、学校・地域一体の活動を展開。

し、国際交流クラブが開設したホームページで平和メッセージを発信。折り鶴の輪が着実に広がっている。

「広島市立中野小学校」

90年、米ワシントン州リパティ小学校と姉妹校縁組み。その後、手紙、ビデオレターによる通信のほか児童の作品(日本から絵画、習字、人形、クラブ紹介、クリスマス・カード。姉妹校からキルトインク、創作童話、陶芸作品など)を交換し、保護者も折り鶴モザイク、中野町の記録ビデオ、姉様人形、お手玉、うちわなどの伝統的な物を届け

化が日々進展するなか、生徒自らが生涯学習に一層資するべく国際化に向けた「生きる力」の育成」。第2外国語、国際情報の科目を設けて「外国語の活用能力を身につけ、コンピューターなどの情報機器を活用した情報の収集など国際コミュニケーション能力を養う」指導が実践されている。

「個性を大切にす教育」は普通コースも含めて基本方針の柱の一つ。自由選択として2年生から週2時間の韓国・朝鮮語中国語、実用英語、ヒロシマ研究、自然観察など特色ある教科を設け、個性と進路を見極めるお膳立てが整えられている。

この間、児童は広島市が派遣する外国人講師を通じて英語と異文化を学習。また公民館が派遣した在広アジア留学生から母国の文化を学ぶ。教職員、保護者もPTA家庭教育学級などで外国人との交流を深めて研修。

海外とは「オマイン交流親善の旅」に児童を派遣し、オーストラリアからの生徒を受け入れ、韓国、ケニア、タイなどの人々と交流するなど多様な文化の理解を地域と共に進めている。

また、同校は、平和運動「安東千羽鶴プロジェクト」を実践している。安佐南区長東小学校が96年に始めた「全国こども千羽鶴大作戦」を引き継ぎ、長東小が国内、安東小が海外を分担

人的交流も。95年、姉妹校から教員、児童計六名を招待し、同校児童と交歓、99年、同校から教師、保護者、児童計七名が姉妹校を訪問。訪問の模様を校内テレビ放送で全校児童に報告するなど、交流の成果を全校のものとする報告活動も重視。

国際活動が盛ん。前年度は生徒四十四名がカナダへ。授業とホームステイを通じて自己表現能力を養う語学研修を。本年度は韓国啓明大学生を受け入れ、交流を行い、異文化理解を図った。また、昨年、ドイツのスポーツ少年団や、オーストラリア高校生をホームステイで受け入れるなど国際交流・親善に貢献しつつ、国際化に向かう生徒の育成が推進されている。

「広島市立安佐北高等学校」

国際情報コースが設置されて01年が完成年度。目標は「国際

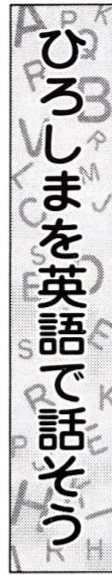
「IVC」

IVC・国際ボランティアアクラブ。アジア競技大会が開かれ

た94年、草の根の国際交流、国際協力を志向する八名で発足したグループは、現在スタッフ二十名。この間、四十を上回る国・地域の外国人学習者は延べ八百名を超えた。

「グローバル精神で活動は足

ユネスコ「英会話教室



終了

四月からグループに

去る二月二十日から広島市青少年センターで始まった英会話教室「ひろしまを英語で話そう」(全五回)は三月二十日で終了しました。

簡単な日常英会話を身につけ、在広、来訪外国人をおもてなしするとともに、諸外国との交流を通して国際感覚を養っていくことをねらいとして実施しました。

去る二月二十日から広島市青少年センターで始まった英会話教室「ひろしまを英語で話そう」(全五回)は三月二十日で終了しました。

簡単な日常英会話を身につけ、在広、来訪外国人をおもてなしするとともに、諸外国との交流を通して国際感覚を養っていくことをねらいとして実施しました。

当協会として青年の育成強化を図っていくことは、数年来の念願でしたが、昨年、組織部会として、青年部の発足に向けて検討を重ねてまいりました。その結果、英会話教室として実施することになりました。

当初、青少年施設等を利用して

元から」を指針に、スタッフと学習者相互の「交流・理解・啓発」を大切にしながら在日外国人の日本語習得を手助けし、精神面でも支援する。その際、指導者・受講者の関係を越えて、国籍、性別、年齢、職種などの

オリエンテーションでは、開講にあたっての諸注意に続いて、講師のひろしま通訳ガイド協会梶田佑子先生を紹介し、第一回の講義(演習)に移りました。

最初は自己紹介でしたが、受講生は次第に和み、楽しい雰囲気の中で会話が弾んでいました

内容は毎回テーマを設定して数人がチームをつくり、英語でやりとりするロールプレイ方式を取り入れていました。

一回、二回と回を重ねるごとに参加人数も減りましたが、二十名が定着してきました。

四回目の時にアンケート調査を行いました。殆どの方がもつと英会話を身に付けたいと学習継続の意思を示していました。最終回はこれまでの振り返りと反省会(茶話会)を持ちましたが、最終会に十三名の受講生がグループとして発足しました。

これからも会員の皆さんのご

違いを認め、互いの文化を理解する実践の場と位置づけ、スタッフは指導者としての入専門・国際・ボランティアの向上を心がけている。

定期活動は、毎週土曜日午後、入門、初級、中級のクラス別指

導と月一回の、国際結婚した人を支えるインターマリッジの会年間では、日本語スピーチ大会、民族衣装ファッションショー、花見パーティーなど学習者の要望を活かし、市民、地域グループとのネットワーづくりを重視

理解をよろしく願います。

【定例会】

日時/毎月一・三水曜日
午後六時三十分から

■場所/青少年センター
(理事 國田 繁)

杉並ユ協・松山ユ協 青年部 広島へ

四年目となった杉並ユ協、今年初の松山ユ協の両青年部が、当協会などの受入れで相次いで広島を訪れ、熱心に見学・研修にとりくみました。

三月二十二日、「ユース交流セミナー」の松山ユ協青年部の一行(高校生二十一名、一般教師各一名、引率者四名)は宇品港から平和公園へ。まず、元原爆資料館長/高橋昭博・当協会副会長の講話、ピース・ボランティアの案内で原爆資料館見学、次いで語り部の岩本節子さんによる平和公園の碑と原爆

して取り組む。日本語ボランティア・シンポジウム、セミナー、帰国・入国児童のためのサマースクール主催のほか、スタッフ、学習者とも学校、公民館への「出前」活動、指導者養成講座で県外、海外と、活躍は広範、多岐。

ドーム巡りでヒロシマを学習。翌日は広島市青少年センターで広島の高校生との交流・交歓会を終えて、江田島へ向かいました。

一方、杉並ユ協は一昨々年の大学生、一昨年、昨年の高校生に次いで今年も高校生十四名(引率一名)が、区教育委員会の助成を得て三月二十六日から二十九日まで来広。前記、松山ユ協のコースに準ずる内容の見学・研修を行い、二十八日は宮島ユ協の全面的な受入れで世界遺産・厳島神社について学習を積みました。

ユネスコ・サロン

日時 5月25日(土) 午後1時半~3時
場所 広島国際会議場 研修室Ⅱ (3階)
演題 「広島と児童文学」
講師 三浦 (児童文学者)
会費 不要

第二十四回 高校生のつどいを開催

去る三月二十四日、広島大学附属高等学校において、「第二十四回広島ユネスコ高校生のつどい」を開催しました。今年、「ともに生きるために『朝鮮半島の歴史と文化を考える』をテーマとして行われました。開講行事に続いて、広島大学附属高等学校ユネスコ班による「朝鮮半島の歴史と文化について考える」の発表が行われました。この発表は、広島大学附属高等学校ユネスコ班が、昨年六月の文化祭で朝鮮高級学校の生徒と交流会を行い、その交流を踏まえて、朝鮮半島の歴史と文化、南北朝鮮の統一問題等について各自の意見を述べたものでした。発表後、コーヒーブレイクを兼ねて、ジェンダーや、識字、環境問題、国際交流・異文化理解等に関して、各校での日常の取り組みの報告や意見交換が行われました。今年のおどいの参加校は、広島市内の高校でユネスコクラブのある、広島桜ヶ丘高等学校と広島大学附属高等学校の2校でしたが、ユネスコ活動の趣旨にご賛同いただき、このつどいにご参加いただける学

校を、少しずつでも拡大していきたいものと考えております。

つどいの後、広島天満屋デパート前で、二時から約一時間半、ユネスコ・コアアクション活動全国キャンペーンの一環として、募金活動を行いました。

太鼓矢晋常任理事・永田龍男常任理事のご指導の下、午後からの参加者も加わって、十六名の高校生が募金活動を行いました。寒風の吹きすさぶあいにくの天候でしたが、高校生の情熱に心を打たれてか、多くの方から計五万五千八百三十二円の募金をいただきました。この募金は、世界寺子屋運動の事業支援金として、日本ユネスコ協会連盟に送付いたしました。

今後とも国際交流の中心となる人材の育成をはかるべく、また、多くの学校が「つどい」に参加していただけるよう、尽力してまいります。

(理事 藤原隆範)

中国ブロック ユネスコ研究会報告

二〇〇一年度中国ブロック・ユネスコ活動研究会が二月二日～三日の両日、「識字教育―世界寺子屋運動の展開」をテーマに、倉敷市市民会館を会場とし

て、約九十名の参加を得て開かれました。

当協会からは、木村進匡・竹沢臣子副会長、亀井章事務局長、藤井正一・太鼓矢晋常任理事の五名が参加しました。

初日は、日ユ協連野口昇理事長の「新しい世紀におけるユネスコの役割と日本の貢献」と題する基調講演。第31回ユネスコ総会で採択された中期事業計画や今後のユネスコの役割と日本がなすべきことが説かれ、さらに、アフガン難民緊急支援キャンペーンの成果とパキスタン視察が映像と共に報告されて、参加者からも支援活動の具体的な質問や意見が活発にとり交わされました。

各ユネスコ協会からの活動報告は、初参加の宮島ユ協をはじめとして十二協会におよび、本協会は、亀井事務局長より①世界遺産関連、②韓国大邱ユネスコ協会との姉妹交流、③「平和の鐘」推進、④広島ユネスコ活動奨励賞、⑤ユネスコ・サロン等について報告しました。

記念講演・くらしき作陽大学教授馬淵久夫氏の「文化財の年代判定の科学」は、遺物・遺跡の年代測定技術の技術進歩について説得力のあるものでした。

二日目、県立倉敷中央高校家庭クラブ実践発表「ひとりの力みんなの力」は、クラブメンバーが一年間にわたって展開した寺子屋運動バングラデシュ支援活動をパソコンの画面を大きなスクリーンに投影しながらのすばらしい報告でした。学習・交流・ボランティア活動の一つひとつに「ユネスコの心」がこめられ感慨深いものでした。

なお、本年度のユネスコ活動研究会は、十一月十六・七の両日、山口県下関市で開催の予定です。(常任理事 太鼓矢晋)

日誌

- 12月
 - 20日/中国人民平和軍縮協会訪日団との交流
- 1月
 - 10日/叙勲・受章祝賀パーティー(光田・木村両副会長)
- 2月
 - 19日/新春フェスタ2002
- 3月
 - 2日/中国ブロック・ユネスコ活動研究会(倉敷)
 - 3日/組織部会
 - 16日/英会話教室「ひろしまを英語で話そう」第1回(毎週水曜・5回シリーズ)
- 4月
 - 3日/国際交流・協力の日
 - 16日/第百三回ユネスコサロン

予告

- 4月
 - 5日/広報部会
 - 20日/第百四回ユネスコサロン「これなら出来る!楽しく話し、書く英語」山根和明・NHK文化センター講師
 - 26日/杉並ユネスコ協会青年部来広「世界遺産研修」
 - 27日/28日/厳島神社
- 5月
 - 2日/第2回「大邱の日」日韓青少年コンサート
 - 25日/2002年度総会
 - 第百五回ユネスコサロン「広島と児童文学」三浦精子・児童文学者
- 6月
 - 1日/大邱ユネスコ協会訪日団
 - 広島入り。5日
 - ユネスコ全国大会(神戸)

「プロ・オーケストラは街の文化のシンボル」〜広島交響楽団大野英人事務局長

／理事會

22日/松山ユネスコ協会青年部来広「平和学習」23日

24日/第二十四回高校生のつどい(広島大学附属高校)

／コアアクション街頭募金

26日/杉並ユネスコ協会青年部来広「世界遺産研修」

27日/28日/厳島神社

5日/広報部会

20日/第百四回ユネスコサロン

「これなら出来る!楽しく話し、書く英語」山根和明・NHK文化センター講師

／理事會

2日/第2回「大邱の日」日韓青少年コンサート

25日/2002年度総会

第百五回ユネスコサロン

「広島と児童文学」三浦精子・児童文学者

1日/大邱ユネスコ協会訪日団

広島入り。5日

ユネスコ全国大会(神戸)